

# ほっかいどう

広報紙

その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

年5回発行  
5・7・9・11・2月の下旬

北海道

当てよう!  
道産品!  
裏表紙をチェック! >>>>>

2017年  
10月号  
平成29年9月発行  
通巻222号

## 【特集】目指そう! エネルギーの地産地消

### 自然豊かな北海道にふさわしい 新エネルギーを育てていきます。

北海道は、環境にやさしい新エネルギー資源の宝庫。  
いま、その導入を積極的に進めています。

多様な資源を有する北海道。  
地域の特性を生かして  
エネルギーの地産地消を  
進めましょう。

北海道知事

富田 博之

#### ご存じですか 新エネルギーと北海道の優位性

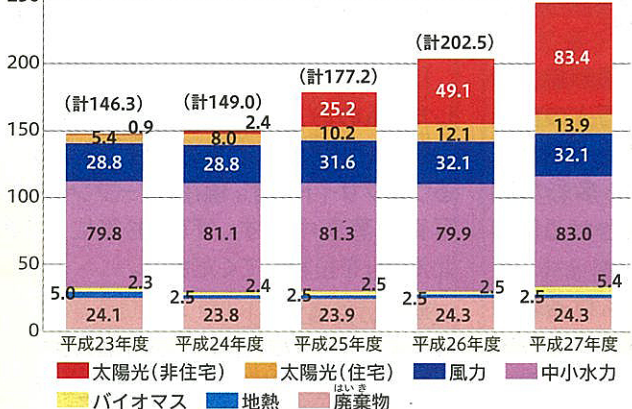
新エネルギーとは、風力、太陽光、中小水力、地熱、畜産系バイオマス、木質バイオマス\*1など、持続的に利用できる環境負荷の少ないエネルギーのことです。また、コージェネレーション\*2、燃料電池といったエネルギーを無駄なく活用する利用形態も含みます。

エネルギーは暮らしと経済の基盤として非常に重要ですが、わが国では、石油、石炭などエネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼っているため、エネルギーを巡る国内外の情勢に影響を受けやすいのが現状です。また、石油、石炭などの化石燃料は、資源に限りがあるだけでなく、使用に伴い多くの二酸化炭素を排出するため、地球温暖化の原因にもなっています。特に北海道は、積雪寒冷地であり、広い地域に市街地や人が分散しているという地域特性から、暖房や自動車の利用による化石燃料の使用が多くなっています。

一方、自然豊かで広大な北海道は、風力、太陽光、水力、バイオマスなど豊富なエネルギー資源を有しています。特に、風力、中小水力発電では全国1位、太陽光発電(非住宅)では全国2位の導入ポテンシャルがあります\*3。

こうした北海道の優位性を生かし、エネルギーを自立的に確保していくには、環境負荷が少なく、地域の資源を生かせる新エネルギーの導入を進めていく必要があります。

北海道における新エネルギー導入量(発電分野)【設備容量】の推移  
(万kW)



\*1 バイオマスとは、再生可能な生物由来の有機性資源のこと。道内では、家畜ふん尿などを使った畜産系バイオマスや、木くずなどを使った木質バイオマスなどがある。

\*2 コージェネレーションとは、発電と同時に得られる熱を給湯、暖房、冷房その他の用途に利用すること。

\*3 出典:「再生可能エネルギーゾーニング基礎情報(平成28年度版)」(環境省)、「H22再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査」(環境省)

▶特集に関するお問い合わせ 道庁環境・エネルギー室 ☎(011)204-5319

#### 新エネルギーの導入における課題

新エネルギーは石油、石炭など既存のエネルギーと比較すると、現状では発電コストが高い、風力、太陽光は出力が不安定といった課題があります。

さらに今後、風力、太陽光など新エネルギーが大量に導入された場合、天候などの影響で出力が大きく変動することがあるため、蓄電池の設置や発電出力の抑制などの対策も必要です。

#### 進めます! エネルギーの地産地消と水素の活用

こうした課題に対応し、地域における新エネルギーの導入を加速していくため、道では今年度、「北海道新エネルギー導入加速化基金」を創設し、全道のモデルとなる先駆的な取り組みや具体的な導入を行う取り組みへの支援を強化しました。

暮らしに不可欠なエネルギーを身近な場所で自立的に確保して、暮らしの豊かさや経済の活性化につなげていく取り組み(エネルギーの地産地消)を全道に広げていきます。

また、次世代エネルギーとして期待される水素を活用した燃料電池の普及にも取り組んでおり、移動式水素ステーションの整備への支援や燃料電池自動車の公用車としての導入など、水素の活用も進めています。

クイズ! 北海道の日

「シカの日」は  
毎月いつ?



答えは中面下に▶